

令和2年度 学生募集概要

入学定員 及び 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員		
			一般入試	社会人入試	推薦入試
看護学研究科	看護学専攻	8人	8人程度	若干名	若干名

試験日程等

試験区分	出願期間	試験期日	試験会場	試験科目	合格発表
一般入試	令和元年 8月19日(月) ～8月28日(水)	令和元年9月6日(金)	敦賀市立 看護大学	・小論文 ・英語 ・面接(口頭試問を含む)	令和元年9月13日(金)
社会人入試				・小論文 ・面接(口頭試問を含む)	
推薦入試				・面接(口頭試問を含む)	

※ その他の詳細は、学生募集要項(6月下旬発行予定)を参照してください。また、同時に本学ホームページでお知らせいたします。
※ 二次募集を実施する場合があります。その場合は、本学ホームページ等でお知らせいたします。

出願資格

出願資格は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 一般入試
- 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に規定する大学を卒業した者または令和2年3月までに卒業見込みの者
 - 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または令和2年3月までに修了見込みの者
 - 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者または令和2年3月までに修了見込みの者
 - 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第155条第1項第6号の規定により文部科学大臣の指定した者
 - 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者または令和2年3月までに授与される見込みの者
 - 学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者で、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院において認められた者
 - 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者(短期大学および高等専門学校を卒業した者、専修学校専門課程の修了者等で、本研究科において審査の結果、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者)
- ※ 出願資格⑦⑧により出願を希望する者に対しては、事前に出願資格の審査を行います。

- (2) 社会人入試 「(1)一般入試」の出願資格のいずれかに該当する者で、令和2年4月1日時点で看護職として3年以上の経験を有する者

- (3) 推薦入試 「(1)一般入試」の出願資格のいずれかに該当する者で、敦賀市立看護大学の学部生である者

学費等納入金

看護学研究科		敦賀市内の方(注)	敦賀市外の方
学費	入学料	166,000円	332,000円
	授業料(年間)	535,800円	535,800円
初年度納入額		701,800円	867,800円

(注) 敦賀市内の方とは、以下のいずれかに該当する方のことをいいます。
ア)平成31年4月1日以前から引き続き敦賀市内に住所を有する方
イ)平成31年4月1日以前から引き続き敦賀市内に1親等の親族又は配偶者が住所を有する方

令和2年度

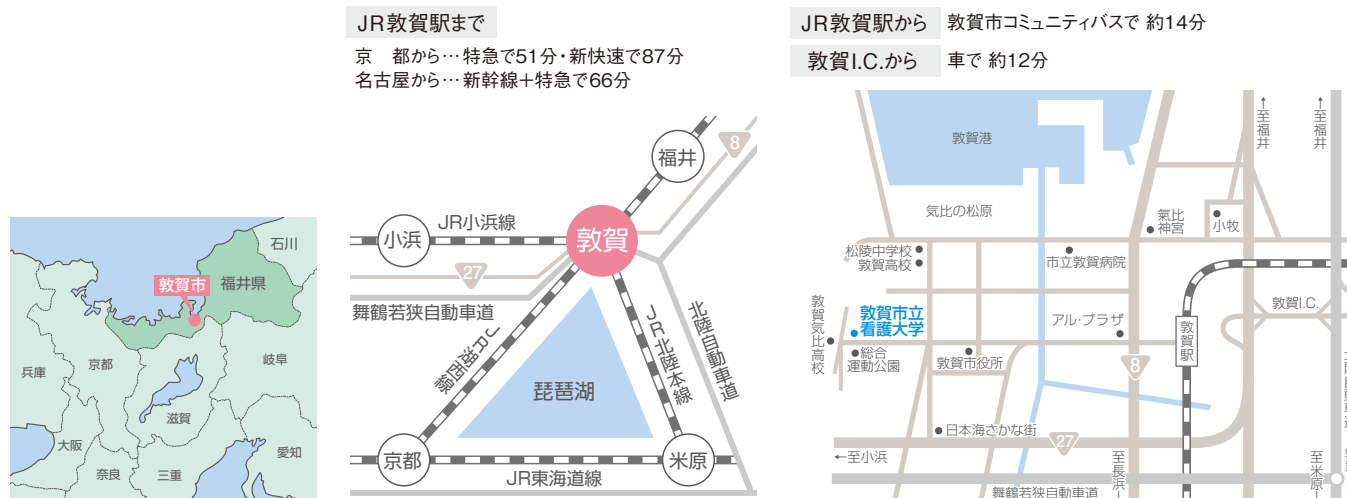
敦賀市立看護大学大学院 看護学研究科看護学専攻

[修士課程]



Access 敦賀市立看護大学 TSURUGA Nursing University

〒914-0814 福井県敦賀市木崎78号2番地1 TEL 0770-20-5500代 FAX 0770-20-5548 URL <http://www.tsuruga-nu.ac.jp>



敦賀市立看護大学

Tsuruga Nursing University

Graduate School of Nursing
Nursing Science Major

教育理念

高度な看護実践力を基盤にした学術研究を通して
看護技術の開発に貢献する人材、更なる看護学体系の構築に
寄与することができる能力を有する人材を育成することを目指します。

教育目標

本研究科では、教育理念を達成するため、次の4項目を教育目標とします。

- 1 専門的知識・技術・実践能力を備え、個々人および地域のニーズに応えられる能力を有する高度な看護実践者を育成する。
- 2 「救急・災害看護学」、「地域・在宅看護学」、「母子看護学」の分野において研究・教育・指導面で中心的役割の担える人材を育成する。
- 3 看護実践現場における課題を抽出し、課題解決のための改革の推進、および教育・指導、看護マネジメント等の能力を有する人材を育成する。
- 4 看護学の高度な専門性の追究、および課題解決のための研究能力を有する人材を育成する。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科では、次のような学生を求めます。

- 1 看護学および看護実践に関心をもち、看護への探求心の高い人
- 2 看護の対象を理解し、個々のニーズに応じた高度な看護を創造し、実践するための学習意欲を持っている人
- 3 高度な先端医療や社会情勢の変化に対応し、他職種と協働して高度な看護を提供するための努力を惜しまない人
- 4 研究的視点から現象を分析し、研究課題を抽出するとともに積極的に研究に取り組む姿勢を持っている人
- 5 看護学の発展に寄与し、社会に貢献しようと自己研鑽に努めることができる人

ディプロマ・ポリシー

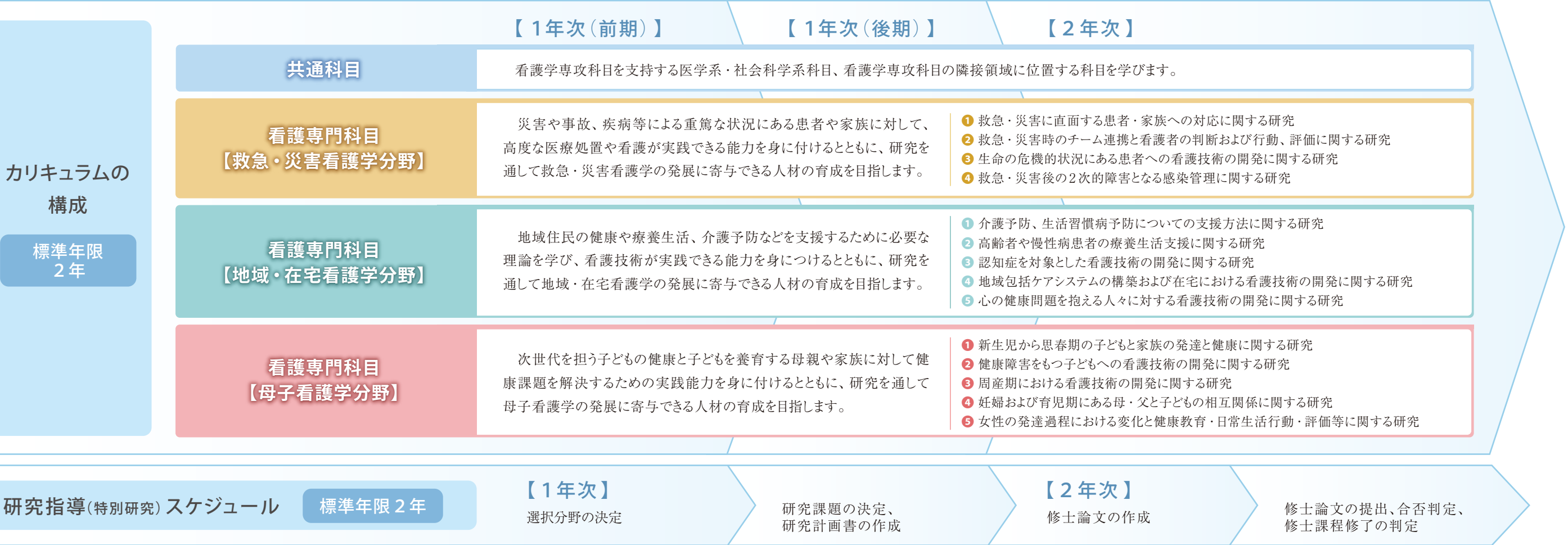
- 1 看護学の構築および看護実践の向上をはかり、専門的知識・技術・実践能力を身に付け、個々人および地域のニーズに応えられる能力を有している。
- 2 高度な先端医療や社会情勢の変化を理解し、「救急・災害看護学」、「地域・在宅看護学」、「母子看護学」の分野において高度な看護が提供できるとともに研究・教育・指導面で中心的役割が担える。
- 3 看護実践現場における課題を抽出し、課題解決のための改革の推進、および教育・指導、看護マネジメント等の能力を有している。
- 4 看護の現状に対して研究的視点から現象を分析し、研究課題を抽出し研究が行えるとともに指導的立場でアドバイスが行える。
- 5 看護学の高度な専門性を追究し、看護学の発展に寄与し、貢献することができる。

カリキュラム・ポリシー

- 1 看護学への関心を高め、看護を探究していくための基盤として、学部の開講科目を履修できるシステムを設けている。
- 2 看護学専攻科目の「救急・災害看護学」、「地域・在宅看護学」、「母子看護学」を支持する科目として医学系・社会科学系の科目を共通科目として配置している。
- 3 あらゆる看護場面で高度な看護が展開できるため、臨床看護、地域・在宅看護、救急・災害時の看護等に関する科目を配置している。
- 4 研究を行うにあたっての学習を深めるため、「救急・災害看護学」「地域・在宅看護学」「母子看護学」分野相互の履修が行えるシステムを設けている。
- 5 研究課題に対して、複数の教員の指導を可能にするシステムを設けている。

科目一覧

科目区分	科目名	単位			配当年次	
		必修	選択			
共通科目	フィジカルアセスメント		2	1	後	
	臨床薬理学		2	1	後	
	医療情報学		2	1	前	
	看護理論		2	1	前	
	医療倫理学	2		1	前	
	看護管理学		2	1	前	
	研究方法論	2		1	前	
	国際文化論		2	1	後	
	英語コミュニケーション		2	1	前	
看護専門科目	救急災害看護学	救急治療学特論		2	1	前
		救急看護学特論		2	1	前
		クリティカルケア看護学特論		2	1	前
		災害看護学特論		2	1	前
		救急・災害看護学演習		2	1	後
		救急・災害看護学特別研究		8	2	通
		地域看護学特論		2	1	前
	地域・在宅看護学	在宅看護学特論		2	1	前
		老年看護学特論		2	1	前
		慢性病看護学特論		2	1	前
		精神保健看護学特論		2	1	前
		地域・在宅看護学演習		2	1	後
		地域・在宅看護学特別研究		8	2	通
		母子看護学	母子看護学特論		2	1
周産期治療看護学特論		2	1	前		
小児看護学特論		2	1	前		
母子看護学演習		2	1	後		
母子看護学特別研究		8	2	通		



修了要件・履修方法

30単位以上の修得を修了要件とし、以下の条件を満たすこと。

本研究科に2年以上在学し、共通科目からは必修4単位、選択8単位以上、看護専門科目からは1分野を選択し、特論8単位以上（選択した分野から4単位以上を含む）、選択した分野の演習2単位、特別研究8単位を修得し、修士論文の提出および論文審査に合格すること。

修了後の取得資格

学位「修士（看護学）」

学修支援制度

- **長期履修制度**
標準修業年限は2年であるが、長期履修制度を導入し、修業年限を3年又は4年とすることができます（出願時に選択）。

- **講義の開講時間**
勤務の都合上、昼間だけでは学習が困難と予測される学生のために、土・日曜日や夜間、一定期間の集中講義などの便宜をはかります。

看護選択分野担当教員（令和元年6月1日現在）

* 志望する分野の詳細については、担当教員（★印）に相談してください。連絡先は、本学ホームページをご参照ください。

分野	職位	氏名	担当科目
救急・災害看護学分野	教授	★山崎 加代子	災害看護学特論、救急・災害看護学演習、救急・災害看護学特別研究
	教授	杉浦 良啓	救急治療学特論、救急看護学特論、クリティカルケア看護学特論、救急・災害看護学演習、救急・災害看護学特別研究
	教授	高原 美樹子	救急看護学特論、クリティカルケア看護学特論、災害看護学特論、救急・災害看護学演習、救急・災害看護学特別研究
	講師	河合 正成	救急・災害看護学演習、救急・災害看護学特別研究
	講師	池原 弘展	救急・災害看護学演習、救急・災害看護学特別研究
	地域・在宅看護学分野	教授	★北村 隆子
教授		藤野 文代	慢性病看護学特論、地域・在宅看護学演習、地域・在宅看護学特別研究
教授		高鳥 真理子	地域・在宅看護学演習
教授		畑野 相子	地域看護学特論、地域・在宅看護学演習、地域・在宅看護学特別研究
教授		喜多 義邦	地域・在宅看護学演習、地域・在宅看護学特別研究
准教授		長井 麻希江	精神保健看護学特論、地域・在宅看護学演習、地域・在宅看護学特別研究
准教授		木谷 尚美	地域・在宅看護学演習、地域・在宅看護学特別研究
准教授		伊部 亜希	老年看護学特論、地域・在宅看護学演習
講師		横山 浩誉	在宅看護学特論、地域・在宅看護学演習、地域・在宅看護学特別研究
母子看護学分野	教授	★交野 好子	母性看護学特論、母子看護学演習、母子看護学特別研究
	教授	阪口 しげ子	母子看護学演習、母子看護学特別研究
	教授	茂庭 将彦	周産期治療看護学特論、母子看護学演習、母子看護学特別研究
	教授	吉川 由希子	小児看護学特論、母子看護学演習、母子看護学特別研究
	准教授	住本 和博	周産期治療看護学特論、母子看護学演習
	講師	木下 珠希	母子看護学演習